

学会だより

◇ 平成 18 年度における幹事の交代

前任者の選出地区からの転出に伴うもの

(前任)

渡邊(高木)洋子

(後任)

江川宜伸(会長指名幹事;平成18年度8月より)

◇ 常任幹事会

開催日:平成16年6月18日

場所:東京大学農学部

出席者:会長 谷坂隆俊,副会長 長戸康郎,大澤良,奥本裕,平田豊,北野英己,中園幹生,寺地徹,阿部利徳,加藤謙司,佐藤裕,長谷川博,勝田真澄,奥野員敏,熊丸敏博

各常任幹事から業務の経過報告を行った後,作物学会からの共同シンポジウム開催の提案,中西印刷が管理している個人情報の取り扱いに関する内規の整備を討議するとともに,学会誌への新査読システムの導入について奥野編集委員長より説明を受けた。

研究助成公募の案内

◇ 不二たん白質研究振興財団 平成 19 年度 助成課題募集

「不二たん白質研究振興財団」は,たん白質に関する研究およびこれに関連する研究の奨励,援助を行い,もって学術の発展および国民生活の向上に寄与することを目的とします。下記の要項に沿ってご応募下さい。

I. 研究者の範囲:大学等およびこれに準じる研究機関に所属する研究者とします。

II. 特定研究(共同研究):1. 特定研究の奨励分野 21世紀の高齢社会において,生活習慣に基づく疾病の一次予防の重要性はますます高まっています。人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の有用性に関する領域の共同研究を対象とします。2. 研究助成額および研究期間 1) 助成額は単年度で500万円までを見当とします。ただし最終的には,研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます(採択予定件数約1件)。2) 研究期間は平成19年4月より原則として3ヶ年とします。3) 応募ご希望の方は予め事務局にご連絡下さい。

III. 一般研究:1. 研究領域と分野 1) 研究領域は大豆たん白質および関連成分に関する研究を対象とします。2) 研究分野はイ. 食品科学・食品工学(遺伝・育種に関する研究,食品の成分・品質に関する基礎研究,食品

の加工・利用,非食品工業への利用に関する研究など)ロ. 栄養科学(栄養に関する生化学・生理学など)ハ. 健康・臨床栄養に関する科学(健康の増進,疾病の予防と治療に関する研究など)3) 萌芽的研究および新進気鋭の研究者(40歳以下)の研究について,選考の際配慮します。2. 研究助成額および研究期間 1) 助成額は1件100万円見当を基準とします。ただし最終的には,研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます。(採択予定件数約25件)2) 研究期間は原則として平成19年4月より1ヶ年とします。ただし連続して助成することもあります。

IV. 応募方法:1. 申込みは,まず氏名,所属機関名,役職名,機関所在地,〒番号, Tel 番号を Fax 又はハガキにて平成18年11月17日までに事務局へご連絡願います。2. 当財団から,折返し募集要項および応募書類をご送付します。3. 応募書類に必要な事項をご記入の上,事務局までご提出下さい。4. 提出された応募書類により,学識経験者からなる選考委員会による選考を経て採否を決めます。

V. 問合せ・申込先:〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町1番地 不二製油(株)内(財)不二たん白質研究振興財団事務局 上田, 福田 Tel: 0724-63-1764, Fax: 0724-63-1756

◇ 平成 19 年度笹川科学研究助成募集

◇研究助成額:1研究計画100万円を限度。◇募集対象者:A〔一般科学研究〕平成19年4月1日現在,大学院生あるいは所属機関等で非常勤・期限付き雇用研究者として研究活動に従事する者であって,35歳以下の者,B〔海洋・船舶科学研究〕平成19年4月1日現在,大学院生あるいは所属機関等で研究活動に従事する(常勤・非常勤は問わず)者であって,35歳以下の者◇募集期間:平成16年10月1日~10月13日。◇詳しくは,Webページ:<http://www.jss.or.jp>をご覧ください。

談話会だより

◇ 近畿地区談話会

2006年5月13日に近畿作物・育種研究会第161回例会および総会を近畿大学農学部で開催した。総会では2006~2007年度の執行体制(会長,長谷川博)と2006年度の事業計画,予算案を決定した。懸案の機関誌「近畿作物・育種研究」の名称変更問題は継続審議となった。例会のプログラムは以下の通りである。

一般講演

①南山泰宏¹・稲葉幸司²(1. 京都農資セ, 2. 京都農総研) 辛味果実の出にくい万願寺とうがらし新品種「京都万

願寺1号」の育成

- ②森川利信・築瀬雅則・平井宏昭・森源治郎（大阪府大院生命環境科学）イネのモチ性極矮性品種小僧の柄の育成
- ③三好昭宏・池上勝（兵庫県農水技総セ）紫黒米品種「兵系紫75号」の育成
- ④谷口祐介・種坂英次・吉田元信（近畿大農）シイタケ *Lentinula edodes* における単核と複核プロトプラスト
- ⑤亀田絵美・猪飼順子・伊藤聖子・新庄康代・長谷川博（滋賀県立大環境）ベニバナカスミソウの花の匂いの遺伝について一匂いの強弱に関する純系育成と AFLP マーカーの検出
- ⑥來田康男¹・米谷正¹・池上勝¹・松山善之助²（1. 兵庫県農水技総セ, 2. (株)タイガーカワシマ）温湯消毒処理が水稻貯蔵種子の発芽に及ぼす影響
- ⑦高橋勲・本間香貴・金村知美・娜日蘇・白岩立彦・堀江武・稲村達也（京都大院農）イネ多様性研究セットにおける葉群の展開と日射利用効率の品種間差異
- ⑧西川知宏・陳福剛・井上博茂・梅田幹雄・山末祐二・稲村達也（京都大院農）メタン発酵消化液の連用が水稻の生育・収量と土壌からの窒素発現形質に及ぼす影響

特別講演

経塚淳子（東京大院農学生命）イネの枝分かれを制御する遺伝子ネットワーク

日本育種学会会員異動(2006.4.21 ~ 2006.7.20)

◇ 普通会員入会：長谷川明彦（北海道）、古藤田信博（岩手）、Aris Hairmansis、菊地理絵、小林正智、山根弘子（茨城）、大関美香（栃木）、安藤敏夫、加藤邦博（千葉）、中田瑛子（神奈川）、大森伸之介（新潟）、堀内陽子（静岡）、本田千晶（兵庫）、近藤勝彦（広島）、浅海英記、伊藤博章、岡本充智、林美穂（愛媛）、松坂弘明（福岡）、

田中秀典（宮崎）、白尾吏（鹿児島）、謝花治（沖縄）

◇ 学生会員入会：永松敦（北海道）、千葉悠貴、本間照久（青森）、岩田夏子、白澤彰（宮城）、Degu Hewan Demissie、寺上伸吾、李春花（茨城）、信田清夏（千葉）、安藤美保、閻海芳、伊藤博和、高橋宏和、中川美緒、森川要、山本弘幸（東京）、児玉晃、笹川克己、皆川明穂（新潟）、佐野幸恵、水多陽子（静岡）、于占芹、袁清波、田村佳奈子、西中未央、橋本絢子、濱田晋介、林清音、廣瀬郁夫、室田有里（京都）、段上輝之（大阪）、田中美佳（兵庫）、GARG MONIKA（鳥取）、天野里子（香川）、HAQUENAZMUL ABUL KHAYER MUHAMMAD（愛媛）、高橋昌宏、宮崎雄太（福岡）、長谷直哉（熊本）

◇ 団体会員入会：石川県立大学図書・情報センター（石川）

◇ 外国会員入会：PARK Ju-Young（大韓民国）、Ahmet Okumus（TURKEY）

住所変更等

◇ 普通会員：木内均、品田裕二、谷尾昌彦、中住晴彦（北海道）、田村和彦（岩手）、北柴大泰（宮城）、佐藤秀樹（秋田）、梶浦一郎、河崎久男、雑賀啓明、須田郁夫、高木洋子、高田（小原）明子、田中有司、平山正賢、堀清純、宮本勝（茨城）、浅子洋一、小原義規（埼玉）、浅野敬幸、大倉玉圭、木村鉄也、佐藤豊、山崎宗郎（東京）、川上修（新潟）、村松幸夫（長野）、久保亜希子、高橋光子（静岡）、武田善行（愛知）、諏訪部圭太、吉田建実（三重）、佐藤洋一郎、福永健二（京都）、足立泰二（大阪）、山崎将紀、高岡素子（兵庫）、辻寛之（奈良）、水見英子（岡山）、馬場孝秀、林田達也（福岡）、外山潤（宮崎）、中島純（鹿児島）、石崎琢磨、出花幸之介（沖縄）

◇ 学生会員：川勝泰二（茨城）

◇ 団体会員：豊田通商（株）食糧砂糖部米麦グループ（東京）

◇ 外国会員：呉世寛（大韓民国）